

講義名:	人間関係論 I	講義時間数: 20時間	受講コース名: 全コース
担当:	小童	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	無		
講義概要:	ビジネス知識や社会人マナー、問題発見力、発信力など社会人に必要な能力の基礎を身に着けるために、座学だけではなく、グループディスカッションや掃除実践などの活動を通して理解を深める。		
到達目標:	「前に踏み出す力(アクション)」「考え抜く力(シンキング)」「チームで働く力(チームワーク)」の3つの能力を身に着けることができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	4/4(月)AM:5つの約束、共通ルール説明/PM:OBOGを招いての講話、姿勢・挨拶実践 (5時間)		
2回目	4/5(火)AM:明元素唱和实践、傾聴トレーニング/PM:掃除の動機付け、掃除実践 (5時間)		
3回目	4/6(水)AM:PSAについての講義/PM:研修スタッフスピーチ、新入生スピーチ原稿作成 (5時間)		
4回目	4/7(木)AM:「夢」スピーチ実施/PM:入学式リハーサル、学科別研修 (5時間)		
授業教材等:	研修ファイル、バインダー、プリント資料 …等		

講義名:	人間関係論Ⅱ	講義時間数: 16時間	受講コース名: 全コース
担当:	小童	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	無		
講義概要:	ビジネス知識や社会人マナー、問題発見力、発信力など社会人に必要な能力の基礎を身に着けるために、座学だけではなく、グループディスカッションや掃除実践などの活動を通して理解を深める。		
到達目標:	「前に踏み出す力(アクション)」「考え抜く力(シンキング)」「チームで働く力(チームワーク)」の3つの能力を身に着けることができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	4/18(月) 卒業生講話・感想文作成 (4時間)		
6回目	4/19(火) 教員による講話(予期的社会化について) (4時間)		
7回目	4/20(水) 課外活動 (4時間)		
8回目	4/21(木) 新入生研修の総まとめ (4時間)		
授業教材等:	研修ファイル、バインダー、プリント資料 …等		

講義名:	学科研修 I A	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部成志 安廣啓示	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:			実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	公務員学科学生として、公務員試験に合格し、その先で活躍する人財になるための日々の在り方について考える。年3回、高校の恩師に向け近況報告書を作成・送付する。		
到達目標:	チームでの教え合いを通して、コミュニケーション力、献身的な考え方を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	学科研修(セルフマネジメントとは)		
2回目	学科研修(在り方とやり方)		
3回目	学科研修(NIEの書き方、テスト)		
4回目	学科研修(学科内ケーススタディ)		
5回目	学科研修(基礎力診断テスト)		
6回目	履修状況報告書の作成①		
7回目	履修状況報告書の作成②		
8回目	履修状況報告書の作成③		
9回目	学科PDCA①		
10回目	学科PDCA②		
11回目	学科イベント(総合模試)		
12回目	学科イベント(総合模試)		
13回目	学科イベント(総合模試)		
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	ヒューマンスキルプログラム I	講義時間数: 32時間	受講コース名: 全コース
担当:	平岡	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	学科・コース合同授業 担当教員:安廣、服部、高橋、平岡、中尾、藤田(横田:公務員講座)		
講義概要:	行政機関、企業、NPO及び地域団体等と協働し、県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。		
到達目標:	県内の企業や官庁が抱えている課題を知り、課題解決に向けて企業や官庁と協働しながら課題の解決や地域活性化を目指す。プロジェクト終了後、活動報告を学内で行い、自分以外のチームの取り組みも		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	5/6(金) 授業の目的(地域課題解決:①企業コラボ ②自分たちで考える)の共有、企業プレゼン		
2回目	5/13(金) ①と②のチーム別に分かれての教室運営 行動計画表作成(②チームは顔合わせor訪問)		
3回目	5/20(金) 各チーム単位で行動		
4回目	5/27(金) 各チーム単位で行動		
5回目	6/3(金) 各チーム単位で行動		
6回目	6/10(金) 各チーム単位で行動		
7回目	6/17(金) 各チーム単位で行動		
8回目	6/24(金) 各チーム単位で行動		
9回目	7/1(金) 各チーム単位で行動		
10回目	7/8(金) 各チーム単位で行動		
11回目	7/15(金) 各チーム単位で行動		
12回目	7/22(金) 各チーム単位で行動		
13回目	9/2(金) 活動報告会		
14回目	9/9(金) 活動報告会		
15回目	9/16(金) 活動報告会&まとめ		
16回目	9/30(金) 活動報告会&まとめ *予備日として設定		
授業教材等:	筆記用具、プリント教材		

講義名:	セルフマネジメント I A①	講義時間数: 77時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部成志・安廣啓示	単位数: 5単位	学年: 1年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他 朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	数的処理 I A①	講義時間数:	50時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	安廣	単位数:	3単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期:	2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。				
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。				
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	ガイダンス(数的処理の勉強のやり方)	17回目	仕事算:グループによるチーム学習		
2回目	対比:授業プリントによる講義・演習	18回目	仕事算:グループによるチーム学習・確認テスト・直し		
3回目	対比:授業プリントによる講義・演習	19回目	単位認定試験		
4回目	対比:授業プリントによる講義・演習	20回目			
5回目	対比:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し	21回目			
6回目	割合:授業プリントによる講義・演習	22回目			
7回目	割合:授業プリントによる講義・演習	23回目			
8回目	割合:授業プリントによる講義・演習	24回目			
9回目	食塩水:授業プリントによる講義・演習	25回目			
10回目	食塩水:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し	26回目			
11回目	食塩水:グループによるチーム学習	27回目			
12回目	食塩水:グループによるチーム学習	28回目			
13回目	食塩水:授業プリントによる講義・演習	29回目			
14回目	食塩水:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し	30回目			
15回目	仕事算:授業プリントによる講義・演習	31回目			
16回目	仕事算:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し	32回目			
授業教材等:	オリジナルプリント				

講義名:	数的処理 I A②	講義時間数:	40時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	安廣	単位数:	2単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期: 2022年度 前期	
認定方法:	認定試験(筆記)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。				
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。				
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	速さ【基礎】:授業プリントによる講義・演習	17回目	速さ総合演習(演習形式)		
2回目	速さ【基礎】:授業プリントによる講義・演習	18回目	速さ総合演習(演習形式)		
3回目	速さ【基礎】:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し	19回目	速さ総合演習(演習形式)		
4回目	速さ【旅人残】:授業プリントによる講義・演習	20回目	単位認定試験		
5回目	速さ【旅人残】:授業プリントによる講義・演習	21回目			
6回目	速さ【旅人残】:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し	22回目			
7回目	速さ【通過算】:授業プリントによる講義・演習	23回目			
8回目	速さ【通過算】:授業プリントによる講義・演習	24回目			
9回目	速さ【通過算】:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し	25回目			
10回目	速さ【流水算】:授業プリントによる講義・演習	26回目			
11回目	速さ【流水算】:授業プリントによる講義・演習	27回目			
12回目	速さ【流水算】:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し	28回目			
13回目	速さ【時計算】:授業プリントによる講義・演習	29回目			
14回目	速さ【時計算】:授業プリントによる講義・演習	30回目			
15回目	速さ【時計算】:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し	31回目			
16回目	速さ総合演習(演習形式)	32回目			
授業教材等:	オリジナルプリント				

講義名:	課題処理 I A①	講義時間数: 40時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える		
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めればいいのかなどを 推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション力、献身的な 考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション	17回目	単位認定試験対策 復習
2回目	対応関係(講義・演習)	18回目	単位認定試験
3回目	対応関係(講義・演習)+確認テスト	19回目	
4回目	対応関係(講義・演習)	20回目	
5回目	対応関係(講義・演習)+確認テスト	21回目	
6回目	試合と勝敗(講義・演習)	22回目	
7回目	試合と勝敗(講義・演習)+確認テスト	23回目	
8回目	試合と勝敗(講義・演習)	24回目	
9回目	試合と勝敗(講義・演習)+確認テスト	25回目	
10回目	順次順序(講義・演習)	26回目	
11回目	順次順序(講義・演習)+確認テスト	27回目	
12回目	順次順序(講義・演習)	28回目	
13回目	順次順序(講義・演習)	29回目	
14回目	順次順序(講義・演習)+確認テスト	30回目	
15回目	順次順序(講義・演習)	31回目	
16回目	順次順序(講義・演習)+確認テスト	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント、公務員ゼミナール(判断推理)		

講義名:	課題処理 I A②	講義時間数:	38時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数:	2単位	学年:	1年
講義形式:	座学			実施時期:	2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り				
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える				
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めればいいのかなどを 推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション力、献身的な 考え方を身につける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	位置関係(講義・演習)	17回目	命題(講義・演習)+確認テスト		
2回目	位置関係(講義・演習)+確認テスト	18回目	単位認定試験対策 復習		
3回目	位置関係(講義・演習)	19回目	単位認定試験		
4回目	位置関係(講義・演習)	20回目			
5回目	位置関係(講義・演習)+確認テスト	21回目			
6回目	方位(講義・演習)	22回目			
7回目	方位(講義・演習)+確認テスト	23回目			
8回目	方位(講義・演習)	24回目			
9回目	方位(講義・演習)+確認テスト	25回目			
10回目	うそとホント(講義・演習)	26回目			
11回目	うそとホント(講義・演習)+確認テスト	27回目			
12回目	うそとホント(講義・演習)	28回目			
13回目	うそとホント(講義・演習)+確認テスト	29回目			
14回目	命題(講義・演習)	30回目			
15回目	命題(講義・演習)+確認テスト	31回目			
16回目	命題(講義・演習)	32回目			
授業教材等:	オリジナルプリント、公務員ゼミナール(判断推理)				

講義名:	政治経済 I A①	講義時間数:	34時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	岡崎 良美 小童 望未	単位数:	2単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期:	2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業時間内確認テストの再テストを放課後に実施する				
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする				
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身につけ、日本及び世界のニュースに対する自らの意見を持つ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身につける				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	オリエンテーション(授業の進め方、勉強方法について)	17回目	第1回単位認定試験		
2回目	大日本帝国憲法と日本国憲法①	18回目			
3回目	大日本帝国憲法と日本国憲法②	19回目			
4回目	大日本帝国憲法と日本国憲法③	20回目			
5回目	大日本帝国憲法と日本国憲法④	21回目			
6回目	大日本帝国憲法と日本国憲法・確認テスト 基本的人権①	22回目			
7回目	基本的人権②	23回目			
8回目	基本的人権③	24回目			
9回目	基本的人権④	25回目			
10回目	基本的人権⑤	26回目			
11回目	基本的人権・確認テスト 受給曲線①	27回目			
12回目	受給曲線②	28回目			
13回目	受給曲線③	29回目			
14回目	受給曲線・確認テスト	30回目			
15回目	問題演習	31回目			
16回目	問題演習	32回目			
授業教材等:					

講義名:	政治経済 I A②	講義時間数:	45時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	岡崎 良美 小童 望未	単位数:	3単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期:	2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業時間内確認テストの再テストを放課後に実施する				
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする				
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身につけ、日本及び世界のニュースに対する自らの意見を持つ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身につける				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	市場経済①	17回目	金融政策・確認テスト 財政政策①	33回目	
2回目	市場経済②	18回目	財政政策②	34回目	
3回目	市場経済③	19回目	財政政策③	35回目	
4回目	市場経済・確認テスト 国会①	20回目	財政政策④	36回目	
5回目	国会②	21回目	財政政策・確認テスト	37回目	
6回目	国会③	22回目	問題演習	38回目	
7回目	国会④	23回目	第2回単位認定試験	39回目	
8回目	国会・確認テスト 内閣①	24回目		40回目	
9回目	内閣②	25回目		41回目	
10回目	内閣③	26回目		42回目	
11回目	内閣・確認テスト 裁判所①	27回目		43回目	
12回目	裁判所②	28回目		44回目	
13回目	裁判所③	29回目		45回目	
14回目	裁判所・確認テスト 金融政策①	30回目		46回目	
15回目	金融政策②	31回目		47回目	
16回目	金融政策③	32回目		48回目	
授業教材等:					

講義名:	検定対策	講義時間数: 34時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志・安廣 啓示	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	卒業必須資格である、Microsoft Office Specialist Excel 2016、ビジネス能力検定ジョブパス3級、ニュース時事能力検定3級、日本漢字能力検定3級の取得を目指し、パワーポイントを使った講義及び過去問等の演習問題を用いて検定対策を行う。試験対策(SPI)、文章作成(作文)も時期に応じて実施。		
到達目標:	Microsoft Office Specialist Excel 2016、ビジネス能力検定ジョブパス3級、ニュース時事能力検定3級、日本漢字能力検定3級を取得できるレベルの知識を身につける。また、知識を応用し日常生活で生かすことができるようになる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	検定対策(漢字検定)演習	17回目	文章作成、作文対策
2回目	検定対策(漢字検定)演習	18回目	文章作成、作文対策
3回目	検定対策(漢字検定)演習	19回目	文章作成、作文対策
4回目	検定対策(漢字検定)演習	20回目	
5回目	検定対策(漢字検定)演習	21回目	
6回目	検定対策(漢字検定)演習	22回目	
7回目	検定対策(漢字検定)演習	23回目	
8回目	検定対策(漢字検定)演習	24回目	
9回目	検定対策(ビジネス能力検定)演習	25回目	
10回目	検定対策(ビジネス能力検定)演習	26回目	
11回目	検定対策(ビジネス能力検定)演習	27回目	
12回目	検定対策(ビジネス能力検定)演習	28回目	
13回目	検定対策(ビジネス能力検定)演習	29回目	
14回目	SPI試験対策	30回目	
15回目	SPI試験対策	31回目	
16回目	SPI試験対策	32回目	
授業教材等:	MOS攻略問題集Excel2016、ビジネス能力検定ジョブパス3級公式試験問題集・公式テキスト、漢検過去問		

講義名:	模擬試験 I A①	講義時間数: 60時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部成志・安廣啓示	単位数: 4単位	学年: 1年
講義形式:	演習(公務員試験・適性試験・SPIなど)		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	日々学んだものを模擬試験を通して習熟度を確認。定期的に行うことで自分の成長度を図ることができ弱点克服にも活用することができる。(7月末には総合模擬試験を実施し、公務員試験を想定した内容で力を試す。)		
講義概要:	公務員試験の教養模擬試験(45問、100分、マークシート方式)および適性試験(120問、20分、マークシート方式)を行う。		
到達目標:	公務員試験受験に向けて実践的な訓練を積む。 学生が目標を持ち、計画的に目標達成する習慣を作るとともに復習を含めた学習習慣を作る。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	公務員試験教養模擬試験(45問100分、マークシート方式)および適性試験(120問20分、マークシート方式)		
授業教材等:	TAC模擬試験問題		

講義名:	選択授業 体育 I A-①	講義時間数: 52時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 3単位	学年: 1年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 4年勤務 岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	・公務員試験突破に向け体力の向上を図る。スポーツクラブと提携しインストラクターから美と健康についての指導もいただき生きるための継続的な体力を育てる。		
到達目標:	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験で項目にある種目の体力向上を図り、試験突破を目指す。 ・社会人となった時に必要な体力やストレス解消法を身につける。 ・外部の施設を使用させていただく中でルール・マナーを身につける。 ・自らの行動を振り返り、改善ポイントを自ら探し出すことができる。 		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	外部施設へ伺いオリエンテーション		
2回目	外部施設へ伺いオリエンテーション		
3回目	施設を利用して体力向上を図る		
4回目	施設を利用して体力向上を図る		
5回目	施設を利用して体力向上を図る		
6回目	施設を利用して体力向上を図る		
7回目	施設を利用して体力向上を図る		
8回目	第1回体力テストを実施		
9回目	施設を利用して体力向上を図る		
10回目	施設を利用して体力向上を図る		
11回目	施設を利用して体力向上を図る		
12回目	施設を利用して体力向上を図る		
13回目	施設を利用して体力向上を図る		
14回目	第1回体力テストを実施		
15回目	施設を利用して体力向上を図る		
16回目	施設を利用して体力向上を図る		
授業教材等:	体育館、スポーツクラブ		

講義名:	選択授業 TKP I A①	講義時間数:	52時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	平岡・外部講師	単位数:	3単位	学年:	1年
講義形式:	座学・実習			実施時期:	2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無				
備考:	2022年4月21日~9月29日(全19回) 外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業				
講義概要:	行政機関、企業、NPO及び地域団体等と協働し、県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・公益財団法人サンマルク財団主催)にエントリーする。				
到達目標:	岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・公益財団法人サンマルク財団主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけでなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	2022/4/21 探究活動導入	17回目	2022/9/15 2次審査向けのパワーポイント作成①		
2回目	2022/4/28 テーマ決め 自分の興味対象を探る	18回目	2022/9/22 2次審査向けのパワーポイント作成②		
3回目	2022/5/12 テーマ決め 発表	19回目	2022/9/29 2次審査向けのパワーポイント作成③		
4回目	2022/5/19 調査方法紹介、ビジネスマナー	20回目			
5回目	2022/5/26 RESASの使い方	21回目			
6回目	2022/6/2 グループ活動(テーマの話し合い)	22回目			
7回目	2022/6/9 プレゼン資料の作り方	23回目			
8回目	2022/6/16 テーマ関連事項の調査のまとめ	24回目			
9回目	2022/6/23 ビジネスプランの立て方について	25回目			
10回目	2022/7/7 ビジネスプランについて話し合い①+RC[-1]:R[7]C[12]	26回目			
11回目	2022/7/14 ビジネスプランにについて話し合い②	27回目			
12回目	2022/7/21 エントリーシートの書き方	28回目			
13回目	2022/8/18 岡山イノベーションコンテスト応募	29回目			
14回目	2022/8/25 他のコンテストへのエントリーシート作成①	30回目			
15回目	2022/9/1 他のコンテストへのエントリーシート作成②	31回目			
16回目	2022/9/8 3分プレゼンのパワーポイント作成	32回目			
授業教材等:	筆記用具、オリジナルテキスト				

講義名:	一般知能実践(数的処理) I A①	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	無		
講義概要:	数的処理について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	自学自習の学習習慣を身に付けさせる。計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を学ばせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	数的処理の問題演習		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(課題処理) I A ①	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	無		
講義概要:	課題処理科目について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	自学自習の学習習慣を身につけさせる。 計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を学ばせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	「対応関係」演習問題		
2回目	「対応関係」演習問題		
3回目	「対応関係」演習問題		
4回目	「試合と勝敗」演習問題		
5回目	「試合と勝敗」演習問題		
6回目	「試合と勝敗」演習問題		
7回目	「順位・順序」演習問題		
8回目	「順位・順序」演習問題		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	オリジナル教材		

講義名:	社会貢献 I A	講義時間数: 40時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	実技・実習		実施時期: 2022年度 通年
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	自分たちが出来る社会貢献とはなにか、を考え実行する。学内外で奉仕活動やボランティア活動を実践する(小学校・中学校・幼稚園・介護施設・観光地・近隣施設など)		
到達目標:	我々は地域に生かされている。そのような感謝の心を育み、感謝の心を表現できるようになる。働くとは何か、人の役に立つとはどういうことか を体験を通して学び、実際に働いて世の中に貢献していくことを真剣に考えられる人となる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション		
2回目	活動意義について グループディスカッションなど		
3回目	活動計画作成		
4回目	活動予定、発表資料作成		
5回目	活動予定、発表資料作成		
6回目	活動予定、発表資料作成		
7回目	活動予定、発表資料作成		
8回目	活動予定、発表資料作成		
9回目	活動予定、発表資料作成		
10回目	活動予定、発表資料作成		
11回目	活動予定、発表資料作成		
12回目	活動予定、発表資料作成		
13回目	活動予定、発表資料作成		
14回目	クラス内発表プレゼン		
15回目	全体発表プレゼン		
16回目	まとめ、研鑽		
授業教材等:	オリジナル教材		

講義名:	セルフマネジメント I A②	講義時間数: 39時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部成志・安廣啓示	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他 朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	セルフマネジメント I A③	講義時間数: 31時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部成志・安廣啓示	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他 朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	数的処理 I A③	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。		
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	場合の数:授業プリントによる講義・演習		
2回目	場合の数:授業プリントによる講義・演習		
3回目	場合の数:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し		
4回目	場合の数:授業プリントによる講義・演習		
5回目	場合の数:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し		
6回目	場合の数:授業プリントによる講義・演習		
7回目	場合の数:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し		
8回目	確率:授業プリントによる講義・演習		
9回目	確率:授業プリントによる講義・演習		
10回目	確率:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し		
11回目	確率:授業プリントによる講義・演習		
12回目	確率:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し		
13回目	確率:授業プリントによる講義・演習		
14回目	確率:授業プリントによる講義・演習		
15回目	単位認定試験		
16回目			
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	数的処理 I A④	講義時間数: 16時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。		
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	確率: 授業プリントによる講義・演習		
2回目	確率: 授業プリントによる講義・演習・確認テスト		
3回目	集合: 授業プリントによる講義・演習		
4回目	集合: 授業プリントによる講義・演習・確認テスト		
5回目	1年間の総復習プリント演習		
6回目	1年間の総復習プリント演習		
7回目	1年間の総復習プリント演習		
8回目	単位認定試験		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	課題処理 I A③	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える		
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めればいいのかなどを 推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション力、献身的な 考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	平面図形(授業プリントによる講義、演習)		
2回目	平面図形(授業プリントによる講義、演習)		
3回目	平面図形(授業プリントによる講義、演習)		
4回目	平面図形(授業プリントによる講義、演習)		
5回目	平面図形(授業プリントによる講義、演習)		
6回目	平面図形(授業プリントによる講義、演習)		
7回目	平面図形(授業プリントによる講義、演習)		
8回目	平面図形(授業プリントによる講義、演習)		
9回目	平面図形(授業プリントによる講義、演習)		
10回目	平面図形(授業プリントによる講義、演習)		
11回目	平面図形(授業プリントによる講義、演習)		
12回目	平面図形(授業プリントによる講義、演習)		
13回目	平面図形(授業プリントによる講義、演習)		
14回目	単位認定試験対策(プリントによる復習)		
15回目	単位認定試験		
16回目			
授業教材等:	オリジナルプリント、公務員ゼミナール(判断推理)		

講義名:	課題処理 I A④	講義時間数: 16時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える		
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めればいいのかなどを 推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション力、献身的な 考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	立体図形(授業プリントによる講義、演習)		
2回目	立体図形(授業プリントによる講義、演習)		
3回目	立体図形(授業プリントによる講義、演習)		
4回目	立体図形(授業プリントによる講義、演習)		
5回目	立体図形(授業プリントによる講義、演習)		
6回目	立体図形(授業プリントによる講義、演習)		
7回目	単位認定試験対策(プリントによる復習)		
8回目	単位認定試験		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	オリジナルプリント、公務員ゼミナール(判断推理)		

講義名:	政治経済 I A③	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	岡崎 良美 小童 望未	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業時間内確認テストの再テストを放課後に実施する		
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする		
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身につけ、日本及び世界のニュースに対する自らの意見を持つ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身につける		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	地方自治①		
2回目	地方自治②		
3回目	地方自治③		
4回目	地方自治④		
5回目	地方自治⑤		
6回目	地方自治・確認テスト 景気変動①		
7回目	景気変動②		
8回目	景気変動③		
9回目	景気変動④		
10回目	景気変動・確認テスト 国民所得①		
11回目	国民所得②		
12回目	国民所得③		
13回目	国民所得④		
14回目	国民所得・確認テスト		
15回目	第3回単位認定試験		
16回目			
授業教材等:	オリジナルテキスト		

講義名:	政治経済 I A④	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	岡崎 良美 小童 望未	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業時間内確認テストの再テストを放課後に実施する		
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする		
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身につけ、日本及び世界のニュースに対する自らの意見を持つ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身につける		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	政治の諸問題①		
2回目	政治の諸問題②		
3回目	政治の諸問題③		
4回目	政治の諸問題④		
5回目	政治の諸問題・確認テスト		
6回目	問題演習		
7回目	問題演習		
8回目	第4回単位認定試験		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	自然・人文科学 I A	講義時間数: 31時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣・肘	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。		
講義概要:	公務員試験で出題される自然系科目(生物・物理・科学・地学) 人文系科目(日本史・世界史・地理)について学ぶ。		
到達目標:	自然に属する諸々の対象を取り扱い、その法則性を明らかにするだけでなく、一般常識的な基礎知識を学ぶ。 世界の自然地理や各国の基本情報を身に着け、公務員試験だけではなく一般常識的な基礎知識を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	物理/速度と距離:授業プリントによる講義・過去問演習		
2回目	化学/化学反応と量:授業プリントによる講義・過去問演習		
3回目	地学/地球と地震:授業プリントによる講義・過去問演習		
4回目	生物/生命の連続:授業プリントによる講義・過去問演習		
5回目	物理/ニュートンの運動の法則:授業プリントによる講義・過去問演習		
6回目	物理/エネルギー保存の法則:授業プリントによる講義・過去問演習		
7回目	化学/化学結合:授業プリントによる講義・過去問演習		
8回目	生物/人の体内環境:授業プリントによる講義・過去問演習		
9回目	地理分野:世界の地形(授業プリントによる講義)		
10回目	地理分野:世界の地形(授業プリントによる講義+演習問題の実践)		
11回目	地理分野:世界の気候(授業プリントによる講義)		
12回目	地理分野:世界の気候(授業プリントによる講義+演習問題の実践)		
13回目	地理分野:地図図法・世界の土壌(授業プリントによる講義)		
14回目	地理分野:地図図法・世界の土壌(授業プリントによる講義+演習問題の実践)		
15回目	地理分野:世界の貿易品目(授業プリントによる講義)		
16回目	単位認定試験		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	SPI試験対策 I A	講義時間数: 16時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志・安廣 啓示	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有り(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:			
講義概要:	テキストに沿って演習問題を進める。		
到達目標:	採用試験にSPIを導入する自治体が増えてきていることから、SPI試験を実施する自治体にも対応できる基礎力を身に付ける。また、教え合いの時間を設け、ただ時間内に解くだけでなく復習を徹底することにより、各分野の解き方を着実に身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	問題演習①		
2回目	問題演習②		
3回目	問題演習③		
4回目	問題演習④		
5回目	問題演習⑤		
6回目	問題演習⑥		
7回目	問題演習⑦		
8回目	単位認定試験		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	基礎から学ぶSPIベーシック問題集/実務教育出版		

講義名:	模擬試験 I A②	講義時間数: 48時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部成志・安廣啓示	単位数: 3単位	学年: 1年
講義形式:	演習(公務員試験・適性試験・SPIなど)		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	日々学んだものを模擬試験を通して習熟度を確認。定期的に行うことで自分の成長度を図ることができ弱点克服にも活用することができる。(7月末には総合模擬試験を実施し、公務員試験を想定した内容で力を試す。)		
講義概要:	公務員試験の教養模擬試験(45問、100分、マークシート方式)および適性試験(120問、20分、マークシート方式)を行う。		
到達目標:	公務員試験受験に向けて実践的な訓練を積む。 学生が目標を持ち、計画的に目標達成する習慣を作るとともに復習を含めた学習習慣を作る。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	公務員試験教養模擬試験(45問100分、マークシート方式)および適性試験(120問20分、マークシート方式)		
授業教材等:	TAC模擬試験問題		

講義名:	就職プログラム I A	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	実際の企業訪問に関しては1日=1週間かけて随時実施する。必ずしも『就職プログラム』の時間内で受け入れが可能かは先方企業の予定優先となるため、時間外での活動を認める。		
講義概要:	卒業生や民間企業で活躍する社会人を招き、講話の形で学生たちに社会で働くうえで必要なことを伝える。また、就職対策として、書類の作成などについても指導する。後期は自ら企業に訪問し、訪問先を得た経験をプレゼンテーションの形で発表する。		
到達目標:	社会人の話を聞き、学生自身が今、何をしなければならないか目標設定を行い、目標達成に向けて行動を起こさせる。 就職活動に向け、様々な価値観に触れることで視野を広げ、多くの経験を積む。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	ハローワーク講話		
2回目	卒業生講話		
3回目	履歴その書き方講座		
4回目	卒業生講話		
5回目	学内合同企業説明会		
6回目	卒業生講話		
7回目	卒業生講話		
8回目	ハローワーク講話(面接対策)		
9回目	民間企業訪問にむけたチーム顔合わせ(動機付けを含む)		
10回目	事前企業調べ、質問事項作成		
11回目	お礼状作成レクチャー、事前企業調べ		
12回目	プレゼンテーション作成		
13回目	プレゼンテーション作成		
14回目	プレゼンテーション発表		
15回目	プレゼンテーション発表		
16回目	プレゼンテーション発表		
授業教材等:			

講義名:	選択授業 体育 I A②	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 4年勤務 岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	・公務員試験突破に向け体力の向上を図る。スポーツクラブと提携しインストラクターから美と健康についての指導もいただき生きるための継続的な体力を育てる。		
到達目標:	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験で項目にある種目の体力向上を図り、試験突破を目指す。 ・社会人となった時に必要な体力やストレス解消法を身につける。 ・外部の施設を使用させていただく中でルール・マナーを身につける。 ・自らの行動を振り返り、改善ポイントを自ら探し出すことができる。 		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	施設を利用して体力向上を図る		
2回目	施設を利用して体力向上を図る		
3回目	施設を利用して体力向上を図る		
4回目	施設を利用して体力向上を図る		
5回目	施設を利用して体力向上を図る		
6回目	施設を利用して体力向上を図る		
7回目	施設を利用して体力向上を図る		
8回目	施設を利用して体力向上を図る		
9回目	施設を利用して体力向上を図る		
10回目	施設を利用して体力向上を図る		
11回目	施設を利用して体力向上を図る		
12回目	体力テストを実施(2回目)		
13回目	施設を利用して体力向上を図る		
14回目	施設を利用して体力向上を図る		
15回目	施設を利用して体力向上を図る		
16回目			
授業教材等:	体育館、スポーツクラブ		

施設を利用して体力向上を図る

講義名:	選択授業 TKP I A②	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	平岡・外部講師	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・実習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	2022年10月6日~2023年2月16日(全15回) 外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業		
講義概要:	行政機関、企業、NPO及び地域団体等と協働し、県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・公益財団法人サンマルク財団主催)にエントリーする。		
到達目標:	岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・公益財団法人サンマルク財団主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけでなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	2022/10/6 グループワーク①(2次審査向けのプレゼン訓練)/他コンテスト応募とプレゼン準備		
2回目	2022/10/13 グループワーク②(2次審査向けのプレゼン訓練)/他コンテスト応募とプレゼン準備		
3回目	2022/10/27 グループワーク①(ファイナルの準備)/他コンテスト応募とプレゼン準備		
4回目	2022/11/10 グループワーク②(ファイナルの準備)/他コンテスト応募とプレゼン準備		
5回目	2022/11/17 グループワーク③(ファイナルの準備)/他コンテスト応募とプレゼン準備		
6回目	2022/11/24 グループワーク④(ファイナルの準備)/他コンテスト応募とプレゼン準備		
7回目	2022/12/1 造山古墳についての調査(インターネット・文献)/福武教育文化振興財団申請書作成		
8回目	2022/12/8 造山古墳:企画のアイデア出し/福武教育文化振興財団申請書作成		
9回目	2022/12/15 福武教育文化振興財団申請書作成		
10回目	2022/1/12 福武教育文化振興財団申請書作成		
11回目	2022/1/19 新聞投稿文の書き方の授業(SDGsまたは探究活動をテーマに書く)		
12回目	2022/1/26 新聞投稿の添削指導		
13回目	2022/2/2 造山古墳ガイド講座の予習と受講後の感想レポート		
14回目	2022/2/9 造山古墳ガイド講座の予習と受講後の感想レポート		
15回目	2022/2/16 探究活動の振り返りと次年度の計画		
16回目			
授業教材等:	筆記用具、オリジナルテキスト		

講義名:	一般知能実践(数的処理) I A ②	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	無		
講義概要:	数的処理について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	自学自習の学習習慣を身に付けさせる。計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を学ばせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	数的処理の問題演習		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(課題処理) I A ②	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	無		
講義概要:	課題処理科目について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	自学自習の学習習慣を身につけさせる。 計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を学ばせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	「位置関係・方位」演習問題		
2回目	「位置関係・方位」演習問題		
3回目	「位置関係・方位」演習問題		
4回目	「位置関係・方位」演習問題		
5回目	「位置関係・方位」演習問題		
6回目	「命題・道順」演習問題		
7回目	「命題・道順」演習問題		
8回目	「命題・道順」演習問題		
9回目	「命題・道順」演習問題		
10回目	「命題・道順」演習問題		
11回目	「図形」演習問題		
12回目	「図形」演習問題		
13回目	「図形」演習問題		
14回目	「図形」演習問題		
15回目	「図形」演習問題		
16回目			
授業教材等:	オリジナル教材		

講義名:	NIE	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	岡崎・小童	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	新聞の記事を読み、その内容に関する所感を記入することで、基本的な文章の読解、構成力を身に付けさせる。		
到達目標:	基本的な文章の読解力、文章作成・構成力を身につけさせる。 一般的な社会時事を自分で読み解き、自ら関心を持って調べる能力を育成する。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	新聞の読解及び所感の記入		
授業教材等:			

講義名:	公務員研究 I A	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未・岡崎 良美	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2022年度 通年
認定方法:	その他(発表内容・出席等を得点化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定) ※演習担当者評価を参考とし、内部講師が最終評価を行う		実務経験:
追試験実施:	なし		
備考:	防衛省・自衛隊: 自衛隊岡山地方協力本部と連携		
講義概要:	現職公務員から職種や業務の内容、業務を通じたさまざまな体験・経験を聞き、公務の本質について考える材料をインプットする。 他者とのディスカッションを通して、「公務員としてどうあるべきか」を考え、言語化していく。 防災講話・応急救護演習を受講し、自助・共助・公助の精神を身につける。		
到達目標:	公務に携わる人間としての心構えを学び、将来の業務にあたる上での考え方・姿勢を確立するための経験を積む。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	現職公務員講話(公務とは、国防とは、国民にとって公務員の存在とは)・座談会		
2回目	グループディスカッション		
3回目	発表資料作成①		
4回目	発表資料作成①		
5回目	発表会		
6回目	防災講義・演習(応急救護演習他)		
選択	駐屯地・基地見学、乗務体験等 ※成績上位者・希望者等が参加		
授業教材等:	AED体験キット他		